

学校だより



第14回卒業式が、3月18日（水）に厳粛な雰囲気の中で行われました。卒業生、在校生ともに緊張した面持ちでしたが、「卒業生の言葉」、「卒業生を送る言葉」では気持ちのこもった言葉を伝え合うことができました。式後の花道では、在校生、教職員が卒業生に言葉掛けをしながら温かく卒業生を送ることができました。花道での光景は、練馬特別支援学校の生徒の優しさ、暖かさが伝わる場面でした。4月から新たな生活での活躍を願っております。

3月25日（水）は、修了式を行いました。4月からは、新2・3年生に進級します。新1年生の模範となる先輩として迎えられよう、春季休業中は、規則正しい生活を送ってください。

一年間、保護者の皆さまには、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。

教務主任 小嶋 利信 3学年主任 中山 嘉実



2年生では修学旅行やこぶし祭、現場実習など、多くの行事に取り組みました。行事を通して生徒たちが一つ一つ経験を積み、確かな成長を見られたことを嬉しく感じています。

修学旅行では、大阪での見学や体験、友達との宿泊など、どの場面も生徒たちにとって大切な思い出になりました。こぶし祭では、「ともだち」をテーマに発表を行い、仲間を思いやる気持ちがしっかり育っていることを感じました。作品展示は個性をのびのび表現していて、とても見応えがありました。また、10月から始まった現場実習では、実習先での経験を通して、生徒たちの表情や姿勢にも頼もしさが見られるようになりました。今年度も、保護者の皆さまにはさまざまな場面で御支援・御協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

2学年主任 村松 真

1年生は、日々の授業や行事を通じて、様々な経験を積んできました。校外学習や移動教室では仲間との交流を深めました。こぶし祭の舞台発表では、一生懸命、練習を積み上げた成果を発揮できたことが各自の達成感につながったように感じます。進路については職場見学や一日職場体験で自分の将来について考えるようになりました。1年間の学習や体験で1年生が成長したことをうれしく感じています。4月から2年生です。みんなで刺激しあいながら、経験を積み上げることを楽しみにしています。

1学年主任 廣瀬 聡子

職能開発科の生徒たちは、「職業に関する専門教科」やインターンシップ、現場実習を通じて、働くことへの意識が高まったと感じています。また、校外学習、移動教室、こぶし祭などの行事では仲間と協力することなど集団の中で様々な経験を重ね、個々に成長する姿を見ることができました。進級した学年で、今年一年間の経験を生かし、力を発揮することを願っております。

職能開発科 遠山 晶子

明日から春季休業に入ります。休業中は、これまでに身に付いた生活リズムがくずれやすい時期でもあります。御家庭でも、日常的に取り組めそうな役割等を決めていただくなど、責任をもたせること・規則正しい生活を送れるよう御協力をお願いいたします。本年度も、関係機関の方から助言をいただく機会がありました。特に、スクールサポーターからはインターネット・SNSを介した闇バイト等危険が潜むところには決して近づかないこと、万が一危険が迫った時には、保護者や先生等、信頼できる大人に相談することが大切であるということです。春季休業中の事故等がございましたら学校まで御連絡ください。今年度も保護者の皆さまには、多大なる御支援、御協力を賜りまして、ありがとうございました。来年度も引き続き、御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

生活指導主任 川村 大輔